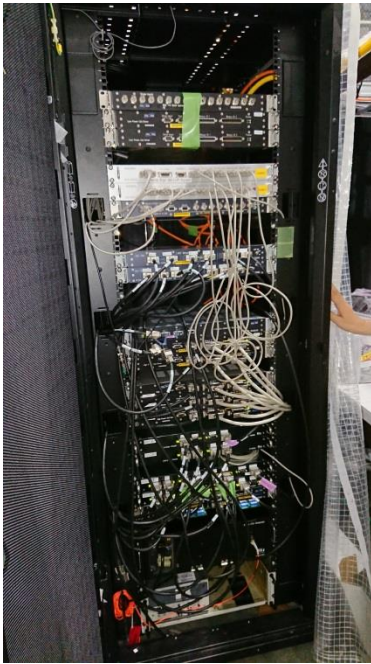


BS、SR2 ラック調査結果

BS ラック

前面全体



後面全体



全体的に問題が多いです。

概略としては

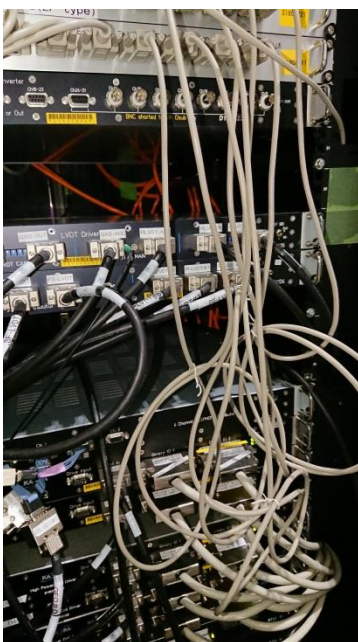
配線は接続部に余計な力が掛からない様に。

他のシャーシのパネル面にケーブルが掛からない様に。

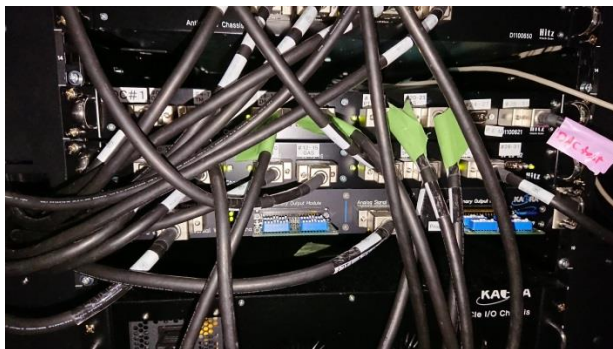
消費電力の多い回路のシャーシはできるだけ重ねずに間隔をおいて配置する様に。

シャーシの天板に紙や物を置かない様に。

以下、個別に。



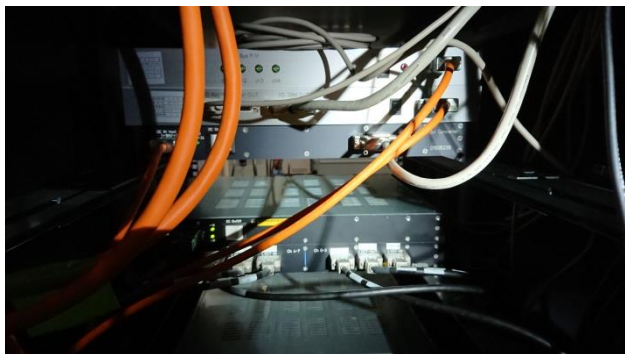
処置されていないケーブルが他のシャーシのケーブル接続等の作業性を悪化させています。



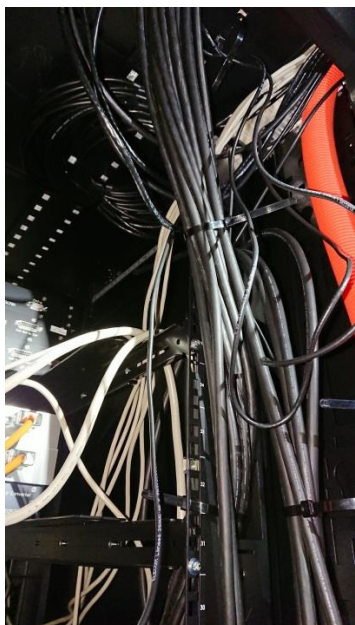
コネクタ接続部、ケーブル端部に負荷が掛かっています。パネルに記載されている文字も読めません。作業性は著しく悪くなっています。シャーシがラックにねじ止めされていない箇所があります。4ヶ所でしっかりとねじ止めしてください。



Geophone への Dsub ケーブル接続の様子です。ピンアサインを変更しているのでしょうか。シールドされていないので外来ノイズの影響を受けやすくなっています。問題はないのでしょうか。必要であれば、専用ケーブルの作製、Geophone 回路の変更等の対策を考慮すべきでは。



専用の Watch Dog 回路の電源コネクタが他の回路とは異なり、右側にあります。そのために回路の信号線とクロスしやすくなっています。他の回路とは離れた位置に配置する等した方がいいかも知れません。



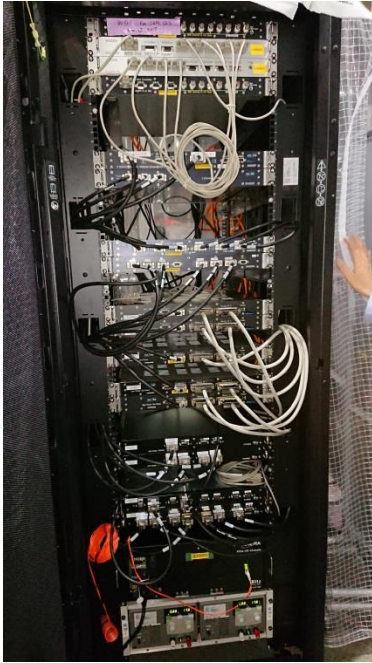
ノイズの影響等を考えるとケーブルの余分な長さ部分はラック外で処置するのが望ましい。



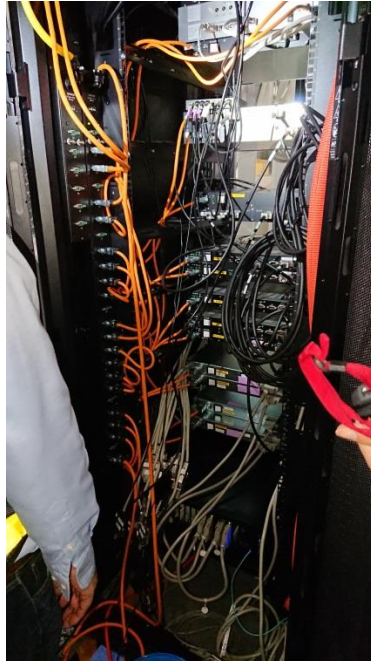
使用していないケーブルのコネクタ部分を床に放置するのは止めてください。
電源ケーブルの放置もよく見かけます。非常に危険です。

SR2 ラック

前面全体



後面全体



ケーブルをまとめ、ラックに固定する等の整理をしていけばほとんど問題はないと思います。

後面においてラック外から配線されるケーブルの余剰分についてはラック外で処理する方がノイズに対する影響を少なくできます。

通電している電源ケーブルを接続せずに放置しないでください。

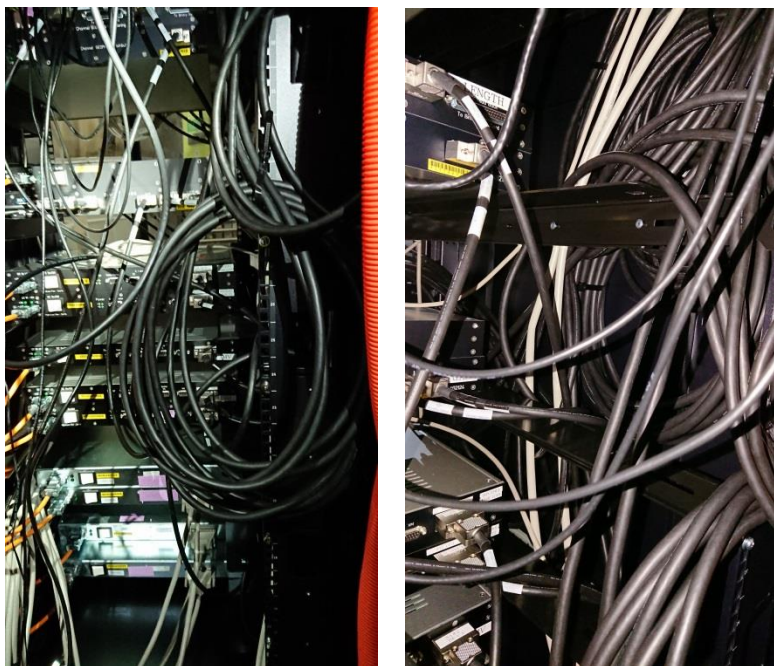
信号線用ケーブルの放置、片側のみ接続された状態で放置しないでください。

放置されている側のコネクタ端子には通電状態の可能性があり、不用意に触れれば感電、機器の故障等の恐れがあります。

以下、個別に。



ケーブルを適切に処理してください。



ラック外から配線されるケーブルの余剰分についてはラック外で処置してください。

その他



IX1? 中央 2F において壁のコンセントから写真の様に AC 電源を使用している箇所がありました。暫定的な仕様なのでしょうが、歩行時に線を引っ掛けたりして、危険ですのでこの様な仕様はできるだけ避けてください。

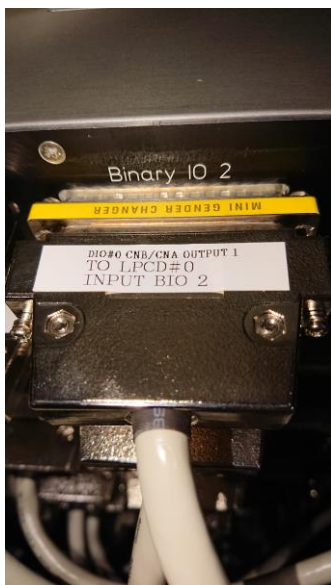
中央 2F で 2 つのラックに回路を収めて使用しようとしていますが、スペースの関係で二つのラックを隣り合わせではなく距離を置いて設置する必要があります。

そこでラック間の配線が必要であり、各々の天板から天板にケーブルを設置、空中配線となっています。

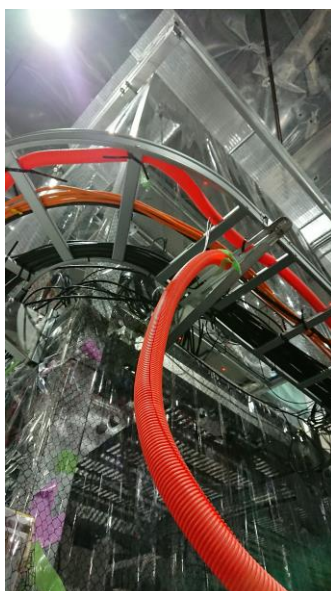
このためにラックの扉の開閉に邪魔になっています。

ラック間にケーブルラックの様なものを設置しケーブルが邪魔にならない様な対策が必要です。

→回路 G にて適当な付属品がないか調査中です。調査検討後、対策を提案させていただきます。



ジェンダーチェンジャーを使用するとパネルとケーブルをねじ止めできなくなります。
回路 G にて対策を検討中。後日、対策を提案します。



光ケーブルを保護するコルゲートチューブの接続部が外れて光ケーブルに負荷が掛かっていました。
暫定的に直してはおきました。

以上。